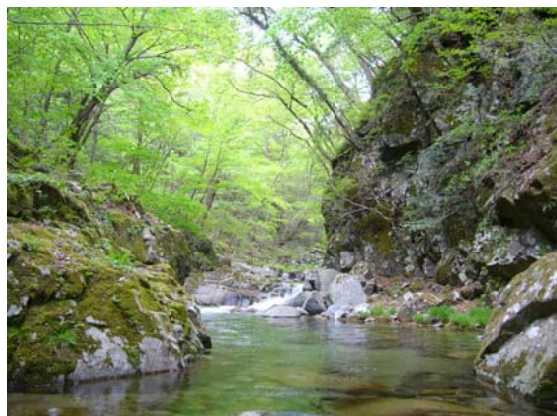


森づくり最前線

磐城森林管理署 馬場森林事務所 森林官 岩澤 剛



新緑に包まれる太田川

馬場森林事務所は、福島県の浜通り北部に位置する南相馬市（旧原町市）に原町森林事務所及び原町治山事業所とともに合同事務所を構えています。

当事務所は南相馬市の原町区の一部、小高区及び双葉郡浪江町にまたがる山間部の国有林及び原町区の海岸部国有林、約5,300㌦を管理しており、スギ、ヒノキの人工林が約6割を占め、アカマツ主体の針広混交天然林と天然広葉樹林が約4割となっています。

この地域は、夏涼しく、冬の積雪は東北地方としては少なく、年数回の降雪がありますが、ほぼ1～2日で融けてしまうなど温暖なことから大変過ごしやすい地域です。



相馬野馬追、神旗争奪戦

南相馬市では、蘇る戦国絵巻「相馬野馬追」が毎年7月23から25日に開催されます。「出陣」に始まり、500余りの騎馬武者が居並ぶ「お行列」、兜を脱ぎ白鉢巻きを締めた若武者が人馬一体となり疾走する勇壮な「甲冑競馬」、天中高く打ち上げられた花火から舞い降りてくる2本のご神旗を、数百騎の騎馬武者が勇壮果敢に奪い合う「神旗争奪戦」など、3日間に亘って豪華絢爛に繰り広げられる相馬野馬追は「世界一の馬の祭典」ともいわれています。ぜひ一度はご観覧頂きたいと思います。

さて、当森林事務所ですが、現在は職員3名体制であり、境界や林道の管理を中心とした業務及び立木の調査が主な業務となっています。

境界管理業務では、境界標識を明示するペンキが薄くなり始めたり、落葉に埋もれて確認できない場合があるため下草の刈り払いや見出標の設置などを行っています。苦労の末に境界標が見つかったと、「あった、あったぞーっ」と、宝物でも見つけたかの様な歓喜の声があがります。

造林事業では、植え付け、保育間伐、松くい虫伐倒駆除など年間を通じて請負事業が行われています。現地での安全・作業指導、業者の方との会話の中からも様々なことを学び、日々奮闘しています。



境界予備調査中の筆者

近年、「環境問題」が注目され、以前より世間の関心が森林へ向けられるようになりましたが、未だに山で会った人に声を掛けると、「森林管理署って、どういうことしているの?」と聞かれたりします。少しでも多くの人に国有林や森林管理署の仕事を理解して頂くためにも、まずは地元の人々とのつながりを大切に、少しずつ理解を広げていくことが必要と考えます。

そして、地域の人々の多様なニーズに応えられるよう、また、海の恵みとも深くかかわっている豊かな森林を守り育てるため、今日も山へと駆け出します。



早春の林地を彩るイワウチワ